

『それから』 予告

夏目漱石

青空文庫

色々な意味に於てそれからである。「三四郎」には大学生の事を描^かいたが、此小^こ説にはそれから先の事を書いたからそれからである。「三四郎」の主人公はあの通り単純であるが、此主人公はそれから後の男^{あと}であるから此点に於ても、それからである。此主人公は最後に、妙な運命^{おちい}に陥^{おちい}る。それからさき何^どうなるかは書いてない。此意味に於ても亦^{また}それからである。

青空文庫情報

底本：「漱石全集 第十六卷」岩波書店

1995（平成7）年4月19日発行

初出：「大阪朝日新聞」

1909（明治42）年6月20日

「東京朝日新聞」

1909（明治42）年6月21日

※初出時、「大阪朝日新聞」には「小説それから」として、「東京朝日新聞」には「新小説予告」「それから」として発表された。

※底本のテキストは、初出（「東京朝日新聞」）による。

※作品の表題「『それから』 予告」は、底本編集部による。

※底本には、初出のルビを「適宜削除した。」旨の記述がある。

入力：砂場清隆

校正：小林繁雄

2003年3月31日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

『それから』 予告

夏目漱石

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>